



ぶどう

主な加害種：カラス、ムクドリ、アライグマ、ハクビシン

ぶどうは鳥では、カラス、ムクドリ、ヒヨドリ、獣では、ハクビシン、アライグマに主に食害される。鳥は果実袋をくちばしで、ハクビシンは口で、アライグマは前肢を使って破く。ハクビシンやアライグマは果肉を吸い取った果皮をその場で吐き出して積み重なっていることが多い。カラスは房から粒を摘み取って持ち去ることが多い。



加害種：カラス

カラスは果実袋をくちばしでつまんで破くので、破き方が鋭角になることが多い。獣との識別には注意が必要。

撮影：百瀬浩



加害種：ムクドリ？

果実袋にあいた穴が小さく、カラスよりも小さいくちばしで何回も突いてあけたような形状である。ヒヨドリも嘴の大きさはほぼ同じだが、ムクドリは物をこじ開けて中の餌を食べる習性を持ったためムクドリの可能性が高い。

撮影：百瀬浩



加害種：ハシブトガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。カラスは房から摘み取ったぶどうの粒を足指でおさえ、くちばしで器用に果肉だけを食べて皮を残すことがある。残った皮は、ハクビシンが吐き出した潰れた形状とは異なり、丸い形状を保っていることが多い。

撮影：吉田





加害種: アライグマ

アライグマは果実袋を、前肢を使って開けるため、破け方が雑になる。泥がつくことも多い。

撮影: 古谷益朗



加害種: ハクビシン

ハクビシンは果実袋を口でくわえて、上から下に引き破ることが多い。その穴から顔を突っ込んで実を食べる。

撮影: 古谷益朗



加害種: ハクビシン

ハクビシンは果実を食べながら、果肉を吸い取った形の果皮をその場で吐き出す。果実袋の中に吐き出した果皮が溜まっていることもある。

撮影: 佐伯

獣類によるぶどう食害写真



アライグマによる食痕(撮影:古谷益朗)



ハクビシンによる食痕(撮影:古谷益朗)



NAROchannel <https://youtu.be/IID1ObkLI4>
で動画を見ることができます。

加害種: ハシブトガラス

農研機構内で栽培していたブドウをカラス(ハシブトガラス)が食べるところ。完熟直前の粒を一つずつもぎ取り、次々と皮ごと丸のみした。カラスは食べ物を「のど袋」に入れて運ぶ習性がある。

なお、この場所では防鳥網やテグスは設置していなかった。

撮影: 佐伯